2024年11月25日

各　位

会　社　名　レ　ジ　ル　株　式　会　社
代　表　者　名　代表取締役社長　丹　治　保　積
（コード番号：176A　東証グロース市場）
問合わせ先　取締役　ＣＦＯ　山　本　直　隆
TEL. 03-6846-0900（代表）

サンケイビル・アセットマネジメントが運用するオフィスビルへのRE100対応電力供給に関するお知らせ

当社は、この度、サンケイリアルエステート投資法人（本社：東京都千代田区、代表者　太田裕一）の資産運用会社である株式会社サンケイビル・アセットマネジメント（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 太田裕一）が運用する5つのオフィスビルに対して、当社の「再エネRE100メニュー」の供給を開始する運びとなりました。これは、トラッキング付きFIT非化石証書を活用し、実質的にRE100の要件を満たす電力を供給するものです。

詳細につきましては、「別紙」をご参照ください。本件を通じて当社は、同投資法人が取り組むScope2及びScope3排出量削減による環境パフォーマンスの向上を支援するとともに、社会全体のカーボンニュートラル実現への歩みを加速させることで、当社事業の拡大とソーシャルインパクトの創出に努めてまいります。

以上

別紙

報道関係者各位

2024 年 11 月 25 日
レジル株式会社

サンケイビル・アセットマネジメントが運用するオフィスビルに
レジルの RE100 対応電力の供給が決定

～Scope2, 3 排出量削減と ESG への対応強化により、同社運用の投資法人の価値向上に貢献～

「脱炭素を、難問にしない」をミッションとして掲げるレジル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長　丹治保積、以下 当社）はこの度、サンケイリアルエステート投資法人（本社：東京都千代田区、代表者 太田裕一）の資産運用会社である株式会社サンケイビル・アセットマネジメント（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 太田裕一、以下　サンケイビル・アセットマネジメント）が運用する 5 つのオフィスビルに対して、当社の「再エネ RE100 メニュー」の供給を開始します。これは、トラッキング付き FIT 非化石証書を活用し、実質的に RE100 の要件を満たす電力を供給するものです。今回の取り組みにより、サンケイリアルエステート投資法人の Scope 2 および Scope3（サプライチェーンにおける間接的な温室効果ガス）排出量削減を図り、ESG の取り組みを強化することで同投資法人の価値向上に貢献します。

株式会社サンケイビル・アセットマネジメント × REZIL

オフィスビルへRE100対応電力の供給が決定





■ 当社の法人向け電力小売事業について

当社は 2004 年に開始した「マンション一括受電サービス」で培った電力調達のノウハウを基に、2016 年から法人向け電力小売サービスを開始しました。現在、約 7,500 件の中小法人や自治体へ電力を供給し、顧客の脱炭素化を支援しています。また、非化石証書取引を活用して再生可能エネルギー（以下　再エネ）比率の向上に努めており、現在は新規契約者に対して実質再エネ比率 100%の電力を提供しています。

■ サンケイビル・アセットマネジメントとの取り組みについて

サンケイビル・アセットマネジメントはサンケイビルグループの中で不動産アセットマネジメント事業を担う資産運用会社であり、J-REIT 市場に上場するサンケイリアルエステート投資法人の資産運用を行っています。

世界的な規制強化、投資家の意識変化、社会の価値観の変化などを受け、資産運用会社は投資法人が投資する不動産の価値向上に加えて、投資法人の持続可能性に対する投資家や顧客からの期待に応えることが求められています。特に Scope3 排出量削減に向けた取り組みは、ESG の「環境」分野において重要な施策となり、環境パフォーマンス向上に大きな効果をもたらします。こうした状況の中、サンケイリアルエステート投資法人はエネルギー消費量の削減や、サプライチェーンに係る温室効果ガス排出量削減の目標を立て、取り組みを強化しています。当社が提供する RE100 対応電力メニューは、低コストかつ実質再エネ比率 100%の電力供給を実現でき、サンケイリアルエステート投資法人の価値向上を後押しできることから、今回の取り組みに至りました。

当社は今後も、さまざまな業界や法人に対して、脱炭素化とコスト削減を両立するエネルギーソリューションを提供し続け、当社が目指す「無意識の脱炭素」の実現を推進していきます。

■ 株式会社サンケイビル・アセットマネジメント　サステナビリティ推進室長 兼 投資運用部担当部長

三吉 久雄 氏のコメント

昨今、温室効果ガスの削減は、運用資産における喫緊の課題となっています。一方でコスト削減は常に求められており、両立することができない相反するテーマとの認識でした。今回の取り組みでコスト UP 無く、Scope 2 及び Scope3 の温室効果ガスの削減効果が期待できる様になりました。特に Scope3 における温室効果ガスの削減は、テナント様の協力を頂かないと実現が難しく、対応のためのコストをテナント様へ転嫁することが困難で苦慮していました。今回の取組みにより、テナント様への負担なく温室効果ガスの削減を実現できることになります。弊社は今後も、温室効果ガスの削減の実現に注力し、カーボンニュートラルに向けて尽力してまいります。

■レジル株式会社について

レジルは、2004 年に事業化したマンション一括受電サービスを通じて、マンションの修繕積立金不足という社会課題の解決に貢献してきました。現在は「結束点として、社会課題に抗い続ける」をパーパスとして掲げています。社会課題の解決という志を同じくする人々の結束点となり、協力しつつ一丸となって社会課題を解決する企業となることを目指し、分散型エネルギー事業、グリーンエネルギー事業、エネルギーDX 事業の３事業を展開しています。

企業情報

会社名：レジル株式会社（証券コード：176A）
代表者名：代表取締役社長　丹治保積
本社所在地 ：東京本社 東京都千代田区丸の内 1-8-1 丸の内トラストタワーN 館 14 階
設立日：1994 年 11 月 21 日
資本金：3.5 億円（2024 年 5 月 27 日時点）
会社 HP：https://rezil.co.jp
事業内容：
【分散型エネルギー事業】集合住宅への電力供給及び分散型電源の開発
【グリーンエネルギー事業】法人への再生可能エネルギーを主体とした電力供給
【エネルギーDX 事業】エネルギー事業者への BPO 及び SaaS の提供を通じた DX 支援